

## 2. オンラインによる ICT 活用セミナー 報告書

### <事業内容>

- (1) 時期：2020年10月～2021年3月（計6回）
- (2) 参加者：各回30名（視覚障害者等）
- (3) 内容：ICT活用法、アプリ紹介などのワークショップ開催

### <事業実績>

多くの方が使われている iPhone や iPad をさらに便利に有効活用する方法やアプリをご紹介します。講師は社会医・眼科医である三宅 琢先生と NEXT VISION 情報マスターの和田 浩一、そして毎回スペシャルゲストをお迎えして最新情報、おすすめ情報をお聞きしました。

当日、視聴できなかった方のためにもアーカイブしていますのでいつでもどこからでも必要な時にご視聴いただけます。

#### ●開催日・ゲスト名・参加人数・アーカイブ URL

- ① 2020/10/26 ゲスト：園 順一 参加者：59名  
[https://www.youtube.com/watch?v=\\_UkXvjHaR8Q&list=PLaAxTmZ-4ULDoS7Xrd-Q2eIe43KFEYgQb&index=25&t=357s](https://www.youtube.com/watch?v=_UkXvjHaR8Q&list=PLaAxTmZ-4ULDoS7Xrd-Q2eIe43KFEYgQb&index=25&t=357s)
- ② 2020/11/30 ゲスト：井上直也 参加者：62名  
<https://www.youtube.com/watch?v=zdGmxy7l3Q8&list=PLaAxTmZ-4ULDoS7Xrd-Q2eIe43KFEYgQb&index=26>
- ③ 2020/12/14 ゲスト：若宮正子 参加者：65名  
[https://www.youtube.com/watch?v=\\_da3I68d10o&list=PLaAxTmZ-4ULDoS7Xrd-Q2eIe43KFEYgQb&index=19](https://www.youtube.com/watch?v=_da3I68d10o&list=PLaAxTmZ-4ULDoS7Xrd-Q2eIe43KFEYgQb&index=19)
- ④ 2021/1/9 ゲスト：谷口 遥 参加者：65名  
[https://www.youtube.com/watch?v=FK6MXIr\\_ZPA&list=PLaAxTmZ-4ULDoS7Xrd-Q2eIe43KFEYgQb&index=18](https://www.youtube.com/watch?v=FK6MXIr_ZPA&list=PLaAxTmZ-4ULDoS7Xrd-Q2eIe43KFEYgQb&index=18)
- ⑤ 2021/2/15 ゲスト：御園政光 参加者：151名  
<https://www.youtube.com/watch?v=A9L1ZzT0meU&list=PLaAxTmZ-4ULDoS7Xrd-Q2eIe43KFEYgQb&index=17>
- ⑥ 2021/3/29 ゲスト：品川博之 参加者：165名  
[https://www.youtube.com/watch?v=INpMyke5X\\_A&list=PLaAxTmZ-4ULDoS7Xrd-Q2eIe43KFEYgQb&index=16](https://www.youtube.com/watch?v=INpMyke5X_A&list=PLaAxTmZ-4ULDoS7Xrd-Q2eIe43KFEYgQb&index=16)

(総評)

コロナ禍ではリアルイベントの開催や対面での情報収集・提供が困難となりましたがコロナ禍だからこそ、視覚に障害のある方が必要とされる情報をお届けする必要があると考え、ビジョンパークでの現地開催から Zoom を使ったオンライン開催へと変更しました。

回を重ねるごとに参加者が増え、当初予定していた各回 30 名の定員をはるかに超える方が参加され、6 回の開催で合計 567 名の方にご参加いただきました。参加される方の居住地も沖縄から北海道まで全都道府県からご参加いただきました。

また、参加申込は 200 名を超えることもあり、当日は参加できなくても後日アーカイブを視聴することを目的に申し込まれた方が多かったことは想定外でしたが、いつでも、どこからでも、何回でも視聴したいという要望にお応えできたことは良かったと思います。

居住する地域を問わない情報処方を行うことができ、スペシャルゲストによる情報提供だけでなく、さらに、参加者の個別の質問に答えるコーナーを増設し、お一人お一人のニーズに合った情報提供及びテクノロジー支援を行うことができました。(個別の質問対応については非公開)

参加者は視覚障害者だけでなく、支援者やご家族も含まれていたことから、今後は医療従事者や教育関係者も含めてより多くの方に、情報提供およびロービジョンケアに関する理解を広めるために、得られた運営・開催方法に関する知見を活かして本事業を継続したいと考えます。